

# 砂防だより



梅雨の晴れ間に(富士宮市)

静岡県支部通常総会 .....	2
全国治水砂防協会総会 .....	3
土砂災害防止月間活動 .....	4
• 急傾斜地パトロールの協働実施	
• 「砂防フェスティバル静岡」開催	
土砂災害に対する全国統一防災訓練 .....	6
平成21年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所 .....	8
インフォメーション .....	10
直轄事業の紹介 .....	11
募集お知らせ .....	12

## 特集 第65回全国治水砂防協会 静岡県支部総会

### 土砂災害防止月間活動

### 土砂災害に対する全国統一防災訓練



全国治水砂防協会静岡県支部

# 静岡県支部通常総会を開催

5月27日(木)、全国治水砂防協会静岡県支部の平成22年度(第65回)通常総会を静岡市内で開催しました。総会では、新支部長の原田袋井市長が議事に先立ち、「東海地震や噴火など大規模な災害が想定されている静岡県では、土砂災害対策はさらに重要な意味を持ちます。」と砂防事業の重要性を訴えました。続いて、岩瀬副知事、天野県議会議長、亀江全国治水砂防協会常務理事、全国治水砂防協会理事の斉藤斗志二様より御祝辞をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成21年度の事業報告・収支決算報告、平成22年度の事業計画・収支予算等が原案どおり承認されました。

滞りなく総会が終了できましたことを、関係各位に感謝申し上げます。

## 〈平成22年度事業計画の概要〉

### 1 砂防事業の周知・啓発・普及

- ①国・県の実施する事業への協力  
・「土砂災害防止推進の集い(全国大会)」への協力
- ②会員による先進地視察研修の実施  
・砂防関係事業現地視察
- ③砂防関係担当職員に対する研修会の開催  
・市町等砂防担当職員研修の開催  
・土砂災害防止法講習会の開催
- ④他機関の実施する講習会等への参加

### 2 砂防事業等促進要望の実施

### 3 「砂防だより」や砂防関係図書の発行

### 4 全国治水砂防協会への協力



岩瀬副知事の挨拶



斉藤斗志二理事の挨拶



亀江常任理事の挨拶



天野県議会議長の挨拶

## ～原田新支部長の挨拶～

この3月から支部長になりました袋井市長の原田です。

昨年は、駿河湾内を震源とする地震などにより、県内各地に被害が発生しました。土砂災害に関しては、地震によるものを含め、昨年は47件が発生しましたが、幸いにして人的被害はありませんでした。

一方全国では、中国・九州北部を襲った集中豪雨により、山口県防府市で老人ホームを土石流が直撃するなど、高齢者等の緊急避難行動をとることができない方々をはじめとした、行政の防災対応が課題となりました。

このような集中豪雨がいつ静岡県を襲うとも限りません。非常時の指揮監督者として、できる限りの努力が必要であると感じております。

また、東海地震や噴火などの大規模な災害が想定されている、静岡県では土砂災害対策はさらに重要な意味を持ちます。

当協会といたしましても、会員相互の連携、国・県との協調の上、砂防関係事業の促進に努めていくのが使命であります。

副支部長の小室 富士宮市長、新副支部長の望月 伊豆の国市長をはじめとした役員の方々とともに、砂防関係事業の普及・発展に努めてまいりたいと思っておりますので今後とも、なお一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。



全国治水砂防協会静岡県支部  
原田 英之(袋井市長)

# 全国治水砂防協会通常総会開催される

5月19日(水)、(社)全国治水砂防協会の平成22年度(第74回)通常総会が、砂防会館で開催されました。

当日は会員多数出席のもと、静岡県選出の塩谷立、城内実、両衆議院議員をはじめ多くの国会議員が来賓として出席されました。当支部からは支部長の原田袋井市長をはじめ16名の会員に御出席いただきました。

総会は、綿貫会長による主催者挨拶後、議事案件の審議に入りました。議事では平成21年度の事業報告・収支決算報告、平成22年度の事業計画・収支予算等が原案どおり承認されました。

お忙しい中、御参加をいただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。



綿貫会長の挨拶



岡本理事長の挨拶

## 本県の参加市町

袋井市、伊豆の国市、河津町、東伊豆町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、川根本町、長泉町、松崎町、富士宮市、伊東市、島田市、掛川市、伊豆市、小山町（計16市町）※太字は本人参加



# 土砂災害対策講演会が開催される

5月27日(木)、静岡市内で静岡県主催の平成22年度土砂災害講演会が開催され、県内3直轄事務所（静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所）、各市町長、各土木事務所長等、多くの出席者がありました。

講演会では国土交通省砂防部保全課企画専門官の佐藤保之氏から「最近の砂防行政について」と題して講演をいただきました。

その後、出席者による活発な意見交換が行われ今後の土砂災害対策に大いに活用できる講習会となりました。



佐藤専門官講演の様子

平成22年度

# 「土砂災害防止月間」の取り組み

6月1日(火)～30日(水)

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命や財産が失われています。

平成21年は、集中豪雨、台風などにより全国各地で1,058件、静岡県内では、8月の駿河湾沖地震で32件、合計で47件の土砂災害が発生しましたが、幸いにして人的被害はありませんでした。

国土交通省と静岡県では、梅雨時で雨量が多く地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすい6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害とその防止について県民の皆様の理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

## 主な活動

- 急傾斜地パトロールの実施
- 広報活動の推進
- 「砂防フェスティバルしずおか」の開催
- 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集及び展示
- 土砂災害防止講習会の開催 など

### ～住民と砂防ボランティアとの協働～

## 1 急傾斜地パトロールの実施

6月1日から16日に、県内の急傾斜地崩壊危険区域において、地域住民や砂防ボランティア、土木事務所、地域危機管理局、市町、警察、消防と協働で、防止施設の異状の有無、法面の崩壊、排水路の機能状況などを点検しました。

施設の破損や小規模な崩壊などの、異状が確認された箇所については、早急に改善設置を講じていきます。



急傾斜地パトロールの実施状況

## 2 市町における広報活動の取組み

各市町では、広報誌、ホームページ等を活用して、土砂災害対策の重要性を広報していただくとともに、庁舎の横断幕・懸垂幕の掲示、公用車を活用した啓発広報の実施、土砂災害防止講習会の開催など、土砂災害防止広報活動に取り組んでいただきました。

広報誌への掲載	沼津市、三島市、伊豆の国市、函南町、静岡市、下田市、東伊豆町、南伊豆町、西伊豆町、伊東市、富士市、富士宮市、焼津市、藤枝市、川根本町、森町、湖西市
ホームページで広報	御前崎市
土砂災害防止講習会の開催	西伊豆町、伊豆の国市、富士宮市、静岡市、島田市、藤枝市、牧ノ原市、袋井市、森町、掛川市、浜松市
テレビ放映	SBS静岡放送、CATV（県内8箇所）
ラジオ放送	SBS「こんにちは県庁です」ゲスト出演外計13回
その他広報	県内ローソン160箇所へポスター掲示 静岡銀行「アゴラビジョン」を利用した広報



平成22年度「土砂災害防止月間」ポスター



啓発懸垂幕の掲示



アゴラビジョンによる広報

## 3

## 平成22年度（第28回）「土砂災害防止全国の集い」において 県内1団体が「土砂災害防止功労者」を受賞

6月9日(水)、広島市において、「土砂災害防止全国の集い」が土砂災害防止月間（6月）の一環として、国土交通省と広島県の共催により開催されました。

また、今回の「土砂災害防止全国の集い」は、土砂災害防止法の交付から10年目の節目として、土砂災害対策の必要性と今後の方向性について住民の理解と関心を深め、人命、財産の被害を最小限にすることを目的に実施されました。この中で「土砂災害全国の集い」の授賞式も行われました。

静岡県内の関係者では、静岡市葵区の「口坂本自主防災会」が、国土交通大臣より表彰を受けました。

同町内会は平成10年の災害を契機に、緊急連絡網の

整備、避難所の設置（静岡市）、特色ある防災訓練の実施など土砂災害の警戒避難体制を整備し、防災面に関して組織として積極的に取り組んでおり、災害防止に10年以上貢献したことが評価され受賞に至りました。



授賞式の全体写真(左端が口坂本自主防災会)

## 4

## みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)

5月29日(土)、土砂災害の恐ろしさや、砂防事業の重要性を県民のみなさまに理解していただくため、静岡市葵区の青葉シンボルロードで「みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)」が開催されました。

この行事は、平成8年から「砂防フェスタしずおか」として開催されてきたもので、国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市、静岡地方気象台が共催し、土砂災害防止に関するパネル展示などが行われました。



土砂災害の映像を熱心に視聴する参加者

### 会場の様子



子供たちも一緒に学びました!



熱心に説明を聞く少年たち!

# 土砂災害に対する 全国統一防災訓練を実施



## ～土砂災害警戒情報で早めの避難!!～

6月6日(日)、全国一斉に「土砂災害に対する防災訓練」が実施されました。

この訓練は、梅雨前線豪雨等による土砂災害の発生に備え、災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を図ることを目的に、平成18年度から全国の市町村で実施されたものです。

本県では34市町において、地元地域住民や行政関係者など約2,000人が訓練に参加し、土砂災害警戒情報の伝達訓練や避難勧告の発令に伴う避難所への避難訓練などを実施しました。

また、6月6日以外に6月20日(日) 静岡市、6月26日(土) 沼津市、6月4日(金) 清水町において訓練を実施しました。

### 訓練参加 市 町

下田市、南伊豆町、西伊豆町、松崎町、河津町、東伊豆町、熱海市、伊東市、沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町、富士市、富士宮市、静岡市、焼津市、藤枝市、島田市、川根本町、牧之原市、吉田町、御前崎市、袋井市、磐田市、森町、掛川市、菊川市、浜松市、湖西市 (計34市町)

## 訓練の状況



島田市一色・上高地地区(防災講座)



焼津市石脇地区(応急救護方法)



藤枝市中ノ合地区(要援護者避難支援)



伊豆の国市後山地区(被災者救護訓練)



焼津市石脇地区(土砂災害防止講習会)



伊豆市八木沢地区(避難者名簿作成)



三島市市山新田地区(避難誘導)



小山町小山地区(要援護者避難支援)



函南町畑地区(避難呼びかけ)



森町大久保地区(土砂災害防止講習会)



袋井市菅ヶ谷地区(集団避難)



西伊豆町田子地区(要援護者避難)

平成21年度

# 砂防関係事業の代表的な完成箇所

## 砂防事業

たんなざわ

### ●丹那沢砂防堰堤工（田方郡函南町丹那地先）



下流に従来型1基、上流に透過型1基の計2基の砂防堰堤の整備を行い、下流域の人家49戸、丹那小学校の安全を図りました。透過型は、普段は土砂を貯めずに下流に流し、流木対策として優れた構造の砂防堰堤です。

だいばがわ

### ●大場川砂防堰堤工（裾野市茶畑地先）



平成19年9月に土石流が発生し、主に流木による人家被害が生じました。このため、従来型砂防堰堤の上流に、災害関連緊急砂防事業により、透過型の砂防堰堤1基の整備を行い、下流域の人家12戸の安全を図りました。

たてがわ

### ●立川砂防堰堤工（静岡市駿河区丸子芹が谷町地先）



丸子芹が谷町地区では、平成15年の土砂災害を契機に、防災対策委員会が立ち上げられ、集中的な土砂災害対策が進められています。当地区の立川では、前庭保護工に流木止工を備えた従来型砂防堰堤1基の整備を行い、下流域の人家45戸の安全を図りました。

てんばくざわひだりしせん

### ●天白沢左支川砂防堰堤工（静岡市清水区大内地先）



清水大内モデル地区では、静岡市都市山麓グリーンベルト事業としてNPOとの協働による土砂災害に強い斜面づくりが面的に行われています。モデル地区内の天白沢左支川に従来型砂防堰堤の整備を行い、下流域の人家60戸の安全を図りました。

## ●砂防事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
丹那沢	田方郡函南町丹那	268.6	17	1号砂防堰堤工 H=7.5m・L=43.5m 2号砂防堰堤工 H=8.5m・L=45.0m
大場川	裾野市茶畑	267.4	19	砂防堰堤工 H=7.5m・L=47.5m 溪流保全工 L=200m
立川	静岡市駿河区丸子芹が谷町	170.5	18	砂防堰堤工 H=10.5m・L=58.0m
長沢川3号支川	静岡市駿河区小鹿	112.1	17	砂防堰堤工 H=7.5m・L=59.0m
天白沢左支川	静岡市清水区大内	161.0	17	砂防堰堤工 H=11.0m・L=47.5m
竜戸南沢	浜松市天竜区水窪町奥領家	264.1	16	1号砂防堰堤工 H=7.5m・L=24.0m 2号砂防堰堤工 H=14.5m・L=42.5m



## 急傾斜地崩壊対策事業

### いすさんさかひがし ●伊豆山坂東急傾斜 (熱海市伊豆山地区内)



がけ崩れによる災害を未然に防ぐため、対策工事を実施し、人家23戸の保全を図りました。

### かつまたはしむかい ●勝俣橋向急傾斜 (牧之原市勝俣地区内)



がけ崩れ災害が発生したため、緊急に対策工事を実施し、人家5戸の保全を図りました。

### なかのこう ●中ノ合ククメ急傾斜 (藤枝市中ノ合地区内)



がけ崩れによる災害を未然に防ぐため、対策工事を実施し、人家9戸の保全を図りました。

### みね ●峰地すべり (島田市家山地区内)



地すべり災害が発生したため、緊急に対策工事を実施し、人家13戸と県道藤枝天竜線の保全を図りました。

## 急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
柿崎腰越	下田市柿崎	65.4	18	擁壁工 L=48m
下賀茂日詰	賀茂郡南伊豆町下賀茂	169.6	18	擁壁工 L=180m
伊豆山坂東	熱海市伊豆山	204.0	16	法面工 A=3,863㎡、擁壁工 L=11m
松原寺山	伊東市松原	30.0	19	法面工 A=305㎡
神島小室	伊豆の国市神島	330.7	15	擁壁工 L=414m
熊ヶ谷	伊豆の国市長岡	87.0	19	擁壁工 L=123m
山本柿崎No.2	富士宮市山本	61.2	20	擁壁工 L=134m
芝川大久保	富士宮市下谷戸	294.5	15	擁壁工 L=854m
瀬名谷ノ沢	静岡市葵区瀬名	21.2	21	擁壁工 L=58m
新間源田川	静岡市葵区新間	120.9	20	擁壁工 L=181m
日向中村	静岡市葵区日向	150.0	17	擁壁工 L=340m
相賀弥宜地	島田市相賀	156.8	19	擁壁工 L=255m
中ノ合ククメ	藤枝市中ノ合	89.7	16	擁壁工 L=203m
高崎上山	焼津市高崎	81.0	17	擁壁工 L=145m
藤川照尾	榛原郡川根本町元藤川	155.2	19	擁壁工 L=225m
宮本	牧之原市白井	130.3	18	擁壁工 L=201m
勝俣橋向	牧之原市勝俣	36.4	20	法面工 A=339㎡
勝俣新戸	牧之原市勝俣	216.0	18	法面工 A=2,539㎡、擁壁工 L=211m
神明前	菊川市棚草	178.2	18	擁壁工 L=488m
今滝	掛川市今滝	35.0	19	法面工 A=1,760㎡
東雲名島	浜松市天竜区東雲名	374.8	14	擁壁工 L=448m
富塚小学校西	浜松市中区富塚町	68.5	19	法面工 A=498㎡

## ●地すべり対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	着手年度	事業概要
峰	島田市家山	383.1	19	集水井3基、法面工A=424㎡

## 大内グリーンベルト地区で恒例の「タケノコ掘り」イベントを実施

4月25日(日)、静岡市清水区大内グリーンベルトモデル地区内の杉谷津沢で、地元の小学生たちを対象に恒例のタケノコ掘りが行われました。

このタケノコ掘りは、竹林の増殖を抑制し、健全な法面を保持する大切な作業です。子供たちの貴重な体験学習になることから、「わんぱくたかべ倶楽部」(地元PTAボランティア)が計画し、「森と水辺を育てる会」が協力する形で行われています。

この日は、地元の高部小学校、高部東小学校の親子も含め約160名の参加があり、育てる会の指導のもと行われました。タケノコ掘りを体験した子供たちからはたくさんの笑顔を見ることができました。



タケノコ掘りの様子

## 環富士山火山防災連絡会総会が開催される

5月21日(金)、富士山周辺の静岡県側8市町と山梨県側7市町村による「環富士山火山防災連絡会」総会が、御殿場市民交流センターで開催され、静岡県砂防課はオブザーバーとして参加しました。

総会では、平成21年度事業報告、平成22年度事業計画が承認されました。また、役員交代があり、会長に御殿場市長、副会長に忍野村長(山梨県)となりました。

なお、総会終了後には研修会が開かれ、静岡地方気象台の小出浩氏より「気象庁における火山観測体制(富士山及び伊豆東部火山群の観測体制強化について)」の講演がありました。



総会会場の様子

## (社)日本地すべり学会第49回研究発表会及び現地見学会が開催される

7月6日から9日にかけて、沖縄県那覇市で平成22年度(社)日本地すべり学会第49回研究発表会及び現地見学会が開催されました。学会には、全国の地すべり研究に従事する研究者や技術者が一同に会し、これまでの研究成果、社会的貢献とその発展についての研究成果について発表されました。また、最終日には、平成18年に地すべり災害が発生し、地域の生活や経済活動等に大打撃を与えた沖縄県中城村の「安里地すべり」の現場等を見学しました。

なお、来年の第50回の研究発表会は、8月下旬に静岡県での開催が予定されていることから、加納砂防課長が意見交換会の壇上において、来年度開催の挨拶と静岡県の宣伝を行うとともに静岡大会への積極的な参加を呼びかけました。



宜保大会実行委員長の開会の辞



来年度開催県挨拶(加納砂防課長)

# 直轄事業の取り組み

今回は狩野川の直轄砂防事業を所管する沼津河川国道事務所の取り組みを紹介します。昭和33年9月26日、伊豆半島東岸を通過した狩野川台風は狩野川流域に記録的な豪雨をもたらし、いたるところで土石流や山腹崩壊が発生し、死者・行方不明者853名、家屋被害6,775戸におよぶ壊滅的な被害となりました。

このような大災害となった主な要因のひとつとして、情報伝達手段の未整備があげられます。当時の主な伝達方法はラジオ、半鐘、有線放送、消防団による水防活動等でしたが、ラジオや有線放送は停電のため使用できなくなり、半鐘や消防団による水防活動は豪雨や浸水等により十分な機能を発揮することができませんでした。もうひとつは、防災意識の不足です。大正時代以前の狩野川では毎年のように洪水等により多くの犠牲者を出していましたが、昭和以降の災害は人的被害を伴う災害は発生していませんでした。このため、「自分たちの住んでいるところは安全だ」といった思いから、逃げ遅れたことも要因と考えられています。

このようなことから、過去の災害で得られた教訓を風化させないため、国土交通省では以下の取り組みを行っています。

## 【国土交通省全体としての取り組み】

- インターネットや携帯電話によりリアルタイムな防災情報を提供
- 災害発生時の被災状況の把握、社会基盤施設の早期復旧、二次被害の防止等のため、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）を創設
- 直轄事業区域外においても国が緊急的な砂防工事を実施することが可能となるよう、国土交通省地方整備局の組織規則を改正

## 【沼津河川国道事務所としての取り組み】

- 大規模土砂災害発生時に防災担当者等が実施すべき事項、事前に実施すべき事項を定めた行動マニュアル「大規模土砂災害危機管理計画」を平成22年3月に策定し、関係機関へ情報提供
- 伊豆地域全域の地形データを取得することにより、大規模土砂災害の危険性の高いエリアを抽出し、警戒避難を含めた防災対策、迅速な災害復旧計画の基礎資料として活用



昭和33年9月 狩野川台風の被災状況（旧修善寺町熊坂地区）

## 【平成22年度】土砂災害防止啓発用品の紹介等

当支部では、土砂災害防止啓発のため、下記の啓発用品を作成・配布しました。御活用いただきまして、ありがとうございました。



## 募 集 コ ー ナ ー

### 土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・ポスター・作文を募集します。

【募集対象】 小・中学生

【応募期間】 6月1日～9月15日

【応募方法】 作品には応募者の学校名（ふりがな）、学年、氏名（ふりがな）、を明記して下さい。

【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号  
静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課 土砂災害対策班  
TEL 054-221-3042 FAX 054-221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



## ジオフォーラム 2010 IN 静岡

【日 時】 2010年10月1日 10:00～16:15

【会 場】 グランシップ 11F 会議ホール「風」

※全国治水砂防協会が協賛しています。

**参加無料**

その他の



5月 26日(水)～28日(金)

平成22年度 (社)砂防学会通常総会ならびに研究発表会

6月

16日(水)

平成22年度 地すべり学会中部支部総会

平成22年 8-10月

砂防関係の

## 主な行事

8月 26日(木)～28日(土) 市町長等砂防事業視察

9月

1日(水)

防災の日

下旬

(社)日本地すべり学会中部支部現地検討会



【表紙写真】

梅雨の晴れ間に (撮影地:富士宮市)

渡辺 孜さん (富士市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

## 編 集 ・ 後 ・ 記

土砂災害防止月間の季節を迎え、各地で土砂災害が発生しています。当協会では、土砂災害に関する防災意識の普及を促進するため、国・県が主催する「みんなで防ごう土砂災害」に参加しました。

人的被害を出さない為にも、一人一人の防災意識が重要になりますので、早めの避難をお願いいたします。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke350/index.html>